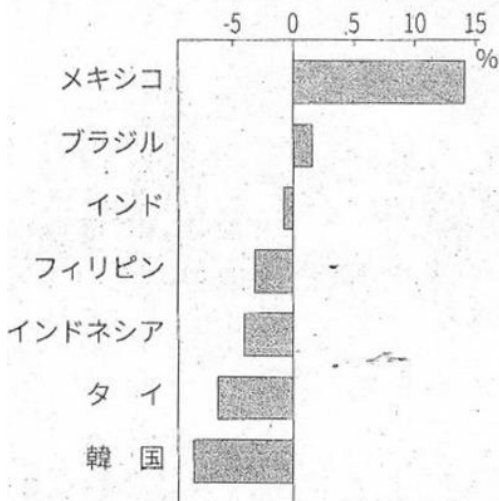


- 04/19・バイデン氏「中国鋼材、関税3倍」 自国産業保護競う 中国「断固反対」
・日米韓「同盟」市場けん制 「円・ウォン安の懸念認識」声明 財務相会合
・G20 財務相会議閉幕 ドル高進行に懸念 是正機運は乏しく
- 04/20・イスラエル、イランに攻撃 核施設狙わず 限定的規模か G7、双方に自制要求
・植田総裁、物価高招けば「政策変更」(G20 会議後会見) 日銀、円安進行を注視
・消費者物価3月2.6%上昇 コストプッシュ圧力再び 輸入品が値上がり基調
- 04/22・米、ウクライナ支援再開へ 9.4兆円の予算案可決 イスラエルに防空資金
- 04/23・新興国通貨にドル高圧力 インド最安値更新 インドネシア4%下落 <1>
インフレ、債務増懸念 メキシコ独歩高は米景気追い風
- 04/25・米 TikTok 規制法案可決 売却か禁止、中国側に迫る バイデン氏が署名成立
・TikTok、一部機能停止 「簡易版」視聴でポイント EU 警告受け
・円下落、155円台半ば 介入警戒感高まる 日経平均。一時700円超安 <2>
- 04/26・米 GDP1.6%増に減速 1~3月、市場予測下回る
・北京自動車ショー 中国勢、車IT化でも先行 トヨタ、テンセントと提携 <3>
AI など次世代技術 日本単独対抗厳しく 中国はトヨタの世界販売の2割占める
・アルファベット最高益 1~3月最終、57%増 初の配当 時価総額2兆ドル突破
・イエレン米財務長官 介入「例外的場合に限る」 円への明言は避ける
- 04/27・日銀金融政策決定会合(26日) 追加利上げ見送り 円下落、157円台後半 <4>
植田総裁、円安「政策の判断材料に」 円安進行、歯止め役なく 市場肩すかし
・米経済、生産性が支え 昨年7~9月、14年ぶり水準 コロナが労働移動促す<5>
・米利下げ観測 年1回に減 インフレ圧力強く 長引く高金利、消費に影響
円安急加速、158円台 1週間で3円下落 米インフレ長期化警戒
- 04/28・円安加速させる米「3高」 経済成長率、インフレ、金利 日本側、打つ手乏しく
- 04/29・衆院3補選 自民全敗 「保守王国」島根落とす 立民が全勝 岸田政権に打撃
・イスラエル抗議デモ全米の大学に波及 バイデン政権に矛先
- 04/30・円急騰、160円台から一転 一時154円台 市場に介入観測 <6>
財務官、介入は「ノーコメント」 大口の買い祝日に急騰劇 円相場、日中値幅6円弱
ドル高観 根強く FRB 強まる利下げ慎重姿勢
・欧州中銀利下げ「6月が現実的」 オランダ中銀総裁(EC理事会メンバー)
- 05/01・テスラ、AI 開発に1.5兆円 自動運転見据え投資増 EV失速で新たな柱模索
・5兆円規模介入か 29日の円急騰 日銀の当座預金残高減
・ユーロ圏プラス成長 1~3月年率 3期ぶり、GDP1.3%増
・米、大麻の規制緩和検討 バイデン氏、若者支持狙う
・米の未来Z世代左右 有権者17%、4000万人を争奪

<1>

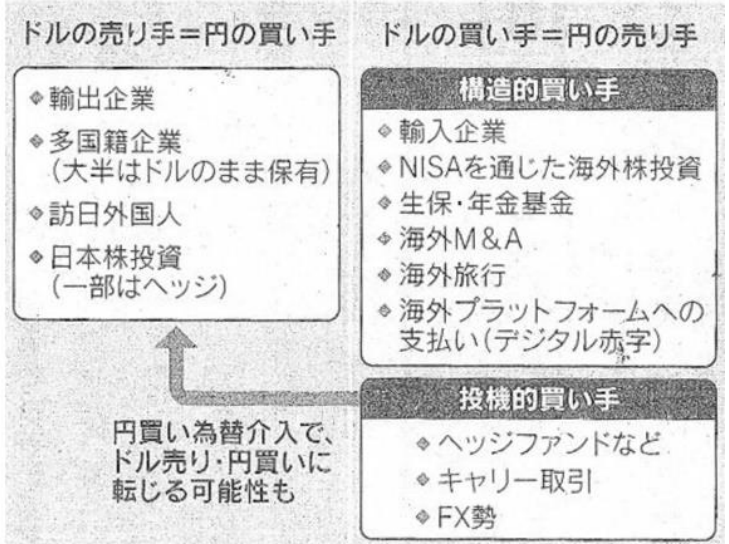
対ドルでの騰落率で明暗



(注)19日時点。2022年末比

<2>

現状ではドル買い・円売りの需要が強い



<3>



<4>

植田総裁の円安に関する主な記者会見発言

「(追加利上げを判断する勘所となる)基調的な物価上昇率に今のところ大きな影響はないと(日銀政策委員が)判断した」

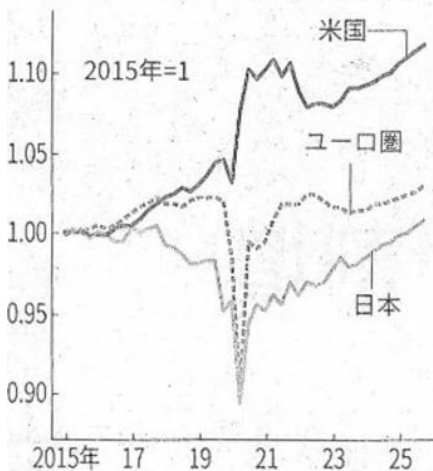
(円安の影響が現時点で無視できる範囲にあるかとの問いに対して)「はい」

「(為替のインフレ率への影響について)長期化する可能性もゼロではない。25年の春季労使交渉の賃金上昇率にはなることになれば基調的物価の動きにも影響する」

「(基調的に物価の動きに影響する)動きが予想できるようにあれば(金融政策の変更の是非を)もつと手前で判断できる」

<5>

米国は生産性の伸びが大きい



(注)労働時間あたりの実質国内総生産(GDP)、OECDによる予測値

<6>

円相場は1ドル=160円台を付けた後に急騰

